

奈良教育大学特別支援教育研究センター NEWS LETTER

TEL&FAX 0742-27-9314
http://cp-support2.nara-edu.ac.jp/hp/
E-mail : tokubetsu@nara-edu.ac.jp

スタッフだより

中西 陽（センター特任准教授）

4月に当センターに着任しました。お子さん、保護者さんが、笑顔で楽しい生活が送れるようサポートしていけたらと思っています。

小松 愛（センター臨床心理士）

みなさんと一緒にお子さんに対する気づきや理解を深めながら、成長を見守っていけたらと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

小川 幸（事務員/臨床心理士研修生）

お子さんや保護者の方のお悩みについて、お手伝いできればと思います。気がかりなことがあれば、どうぞお気軽にご連絡ください。

特別支援教育研究センター

センター長：根来秀樹（児童精神科医）
特任准教授：中西 陽（臨床心理士）
特任講師：富井奈菜実
相談員：小松 愛（臨床心理士）
田中裕二（作業療法士）
教育学部兼務教員：大西貴子（臨床心理士）
越野和之
教職大学院兼務教員：木下理恵
事務：大久保直子・小川 幸（臨床心理士研修生）



今年度もよろしくお願ひします！

ごあいさつ

特別支援教育の役割

教職大学院特任准教授 細川憲次

本年度より教職大学院に着任し、先日初めての授業を行いました。科目名は「特別支援教育の教育課程・授業論」です。現職教員を含む院生が参加していますが、ほとんどの院生が障害＝発達障害のイメージを持っていました。

私は昭和54年の養護学校義務化の年からこの仕事に携わっています。初任は知的障害教育校で、当然対象者は重度の障害のある子供たちです。その当時に全体の0.3～0.4%、現在でも0.6～0.7%に当たる子供たちです。この子供たちの障害の程度に合った自立を目指して、手探りで授業を作り上げてきました。

そんな流れのなか世間では、インテグレーションやIEPやユニバーサルデザインなどの言葉が飛び交うようになり、そのころ私が勤務する学校に知的障害があるとは思えない生徒が時々入学するようになりました。私はこの学校へ入学しなければならなかった「行き場のない子供たち」のことがとても気になっていました。

平成17年4月に発達障害者支援法が施行されて、「この子たちも救われる」と少し安堵したものです。この法も含め日本が障害者権利条約を批准するまでの間に様々な法が整備されました。そして教育においても特殊教育から特別支援教育となり、インクルーシブ教育を目指すこととなりました。

しかし、現実はそのなかに甘くはありません。障害のある児童生徒一人一人に応じた適切な指導と必要な支援は異なるのです。通常の学級にいる学習面や行動面で著しく困難を示す子供たちが6.5%。この子たちも含めて特別支援教育の対象者となりました。

この幅広い障害に対応できる特別支援教育を推進する教員が今、求められています。

【令和元年度開催予定のプログラム】

- 公開講座「障害を持つ息子へ～息子よ。そのまま、いい。～」
- 夏休み!!宿題おたすけプロジェクト2019
- 鉄オタ倶楽部 など

随時ホームページにてご案内します

⇒ <http://cp-support2.nara-edu.ac.jp/hp/>



平成30年度の取り組み

教育相談・発達相談

相談総数	393 件	内訳		
		発達相談	361件	／教育相談 32件

保護者・子ども向けプログラム

寺子屋	のべ人数	67	名	
夏休み!!宿題おたすけプロジェクト (3日間)	小学生	のべ42	名	保護者 のべ36 名
	学生	のべ47	名	教員 のべ24 名
鉄オタ倶楽部	子ども	のべ80	名	サポーター のべ36 名

教師向けプログラム

TT アドバンス・クラス 「基礎から学ぶ応用行動分析講座」(12回実施)	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員	のべ55 名
---	-----------------------	--------

研修会

【公開講座】

5/19「自閉スペクトラム症をもつ青年が語る—その2—」

講演「発達障害児者の思春期・青年期」 講師：根来秀樹

対談「自閉スペクトラム症をもつ青年が語る—思春期・青年期編—」

インタビュアー：大西貴子

7/27「習癖異常の理解と支援—夜尿・チックを中心に—」 講師：根来秀樹

センターからのお知らせ

facebookを開設しています。イベントのお知らせ、活動記録などをアップしています📷

特別支援教育研究センター

facebook



奈良教育大学鉄オタ倶楽部

facebook



平成30年度活動報告

鉄オタ倶楽部 New



発達障害のある子どもたちが自分の興味や関心をとことん追求しながら集団の中で社会的スキルを学ぶことを目的とした鉄オタ倶楽部を指導。3月の活動発表会を目指し、ジャンルごとチームを結成して活動してきました。初めての発表会、「お客さん来てくれるかな…」「うまく発表できるかな…」と不安一杯でしたが、鉄オタ キッズは見事に客席を沸かせてくれました！他にも課外活動（撮り鉄etc）や鉄道研修センター見学なども実施され、満足度120%の倶楽部です。



夏休み!!宿題おたすけプロジェクト



発達障害のある子どもたちを対象とした学習支援プログラムを実施。3日間かけて山盛りの宿題を終わらせることができました！教員を目指す学生や意欲ある現職教員「おたすけ隊」のパワー（専門性）もレベルアップ。充実した学習コーナーも準備されました。一方で保護者はペアレント・トレーニングを受講しました。

「子どもの学習支援」、「ペアレント・トレーニング」、「学生や現職教員が発達障害のある子どもたちへの支援方法を学ぶ研修」を兼ねた事業となりました。



放課後学習支援「寺子屋」



学習困難のある子どもを対象とした学習支援を行なっています。読み書きの評価に基づき、タブレット等を活用しながら、一人一人の子どもの特性に応じた支援を行なっています。月2回、教員を目指す学生が指導しています。ためてきたがんばりポイントを使って水鉄砲&かき氷パーティーも開催されました！

TTアドバンス・クラス 「教師のための応用行動分析講座」

毎月第4水曜日の夜間に現職教員向けのティーチャー・トレーニング・アドバンスクラスを実施しています。登録メンバーは小中高および特別支援学校の教員12名。平成30年春には大阪教育大学・大河内浩人先生をゲストにお招きして特別講義をいただきました。これまで基礎テキストの講読、メンバーの発表を中心に知識習得を目指してきましたが、これからは、それぞれの現場で検討したいケースを持ち寄り、行動の機能アセスメントや介入プランの立案など、実践的な事例検討を行う予定です。

【お問い合わせ先】

奈良教育大学特別支援教育研究センター

住所：〒630-8528 奈良市高畑町（奈良教育大学高畑キャンパス新館1号棟 1階）

TEL & FAX：0742-27-9314 *火・水・木（祝日を除く）午前10時～午後1時／午後2時～午後4時

メールアドレス（事務）：tokubetsu@nara-edu.ac.jp